



山本一郎 院長

山本歯科医院矯正歯科クリニック通信

山本歯科医院矯正歯科クリニック
〒662-0811 西宮市仁川町 2-3-8
ホームページ：<https://yamamoto-d-clinic.com>



「話す」こと「食べる」ことに困ってはいませんか？



山本歯科医院矯正歯科クリニックでは、**言葉のエキスパートである言語聴覚士が常駐**しており「言葉」や「食べる」こと「嚥下すること」についての治療をおこなっています。

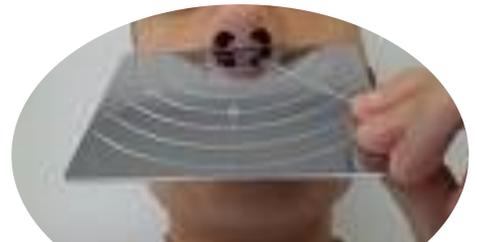
今回は「話す」ことに困難を感じている人についてお話ししたいと思います。「話す」ことに障害を持っていると言ってもその**原因は大きく分けて3つ**あります。

1つ目は、食べる機能や言葉の発達が遅れているためにお話ができない方。
2つ目は、おもに舌や唇の使い方に問題があって正しくお話ができない方。
3つ目は、のどのしまり、これは鼻咽腔の閉鎖機能といいますが、この働きが不十分であったりする為にお話ができない方。この3つがあります。
まず、このような問題について**どのような検査を行うか**について説明しようと思います。

言語機能を確認するための検査の例



側方セファログラム（左）でのどに異常がないか調べる
パノラマX線写真（右）で歯の数や顎の異常を調べる



鼻息鏡で鼻からの空気の漏れを確認

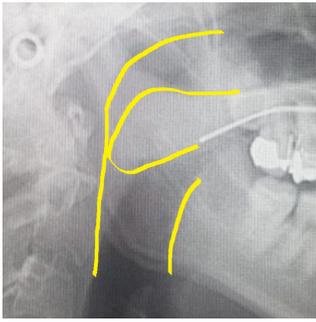


話しているときにどれだけ鼻から息が漏れているか**ナゾメーター**で確認



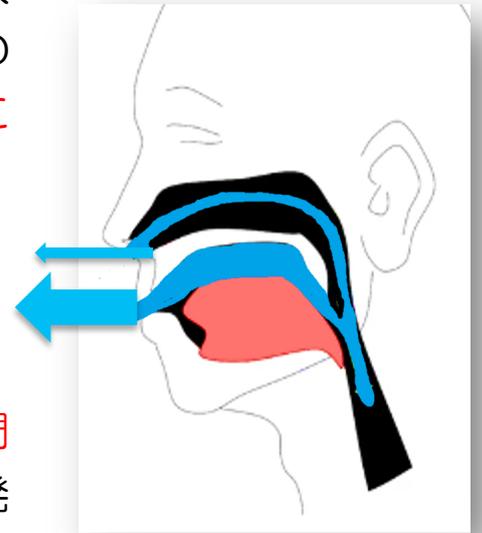
鼻咽腔内視鏡でのどが正しく機能しているかを確認

発音補助装置 (PLP) について



発音補助装置 (PLP) について話します。上あごの柔らかい部分でのどの奥の部分にある口蓋のことを軟口蓋と言いますが、PLP の装着によって、軟口蓋を挙上し発話時の空気が鼻から漏れるのを防止 (左図) します。そうすることによって発話が明瞭になります。

私たちが話をする時、肺から出てきた空気の大半は声帯を通過してのどに来て、鼻に抜けずに口の方から出てきますが、音によっては鼻から適切に空気が抜けることもあります (右図)。鼻から出ていく空気の量が多くなってくると開鼻声と言われる、鼻にかかったような音になります。また、鼻からの空気の漏れを防止するために声帯を閉めるような異常な現象が見られます。これを声門破裂音といいます。こういった音をなくすために発音補助装置 (PLP) を作って装着します。



発音補助装置 (PLP) は維持を求める上顎の硬い部分とのどの奥の方へ突き出た軟口蓋を挙上する部分の2つからなっています。これを口腔内に入れると最初は唾液がよく出たり、吐きそうになったりしますが次第に慣れていきます。個人差がありますので過敏な人には少しずつ突起の部分を伸ばしたりして慣れていただきます。発音補助装置 (PLP) を入れることによって、発話が明瞭になります。

当院 HP です。スマホカメラで写してみてください



山本歯科医院矯正歯科クリニック
西宮市仁川町 2-3-8

<https://yamamoto-d-clinic.com>

阪急今津線「仁川駅」より徒歩 2 分 P 8 台あり

